

査読基準

1. 学会の設立趣旨・価値

千葉看護学会は、千葉大学大学院看護学研究科博士課程が開設されたことを機に、看護学の基盤をより豊かにかつ強固にしていく研究へと推進するための組織として、平成6年（1994）に設立されました。設立理念である「実践と研究の往還」の共有のもと、その後、現実の諸問題を解決するために実践的研究を一層充実させるとともに、会員相互の学術的研鑽を図り、看護学の発展に寄与する種々の学術活動を行ってきました。

2. 論文の内容

看護学の向上と発展に寄与するものであり、未発表のものに限る。

3. 査読基準

論文種別にかかわらず、系統的な論文構成になっており、投稿規定に沿っている論文形態となっていることを基準とする。

また、研究対象者への倫理的配慮、倫理審査委員会の承認の有無、利益相反、著者資格（Authorship）などの必要な研究倫理に関する事項を確認する必要がある。

そのうえで、以下の基準に基づき、論文種別の基準に即して査読を行う。表中に◎で示された項目は必ず満たすこと、○で示された項目は満たすことが望ましいこととする。

独創性：独自の発想であり、新たな知見が得られていること

発展性：今回の論文が、実践と学術活動の両方またはいずれかに、新たな展開や発展の可能性が認められること

学術的価値：看護学固有の課題が特定され、その課題の克服に貢献すること。特に本学会では、実践と研究の往還を具現化する研究に価値をおく

信頼性：研究目的を達成する手段が妥当であり、その結果が信用できること。又は、提示された内容が信用できること

完成度：研究論文としての要件が満たされていること。実践と研究の往還を具現化する研究は完成度が高い

	総説	原著	実践報告	その他
論文形態	◎	◎	◎	◎
独創性	○	◎	○	
発展性	○	◎	◎	
学術的価値	◎	◎	○	
信頼性	◎	◎	○	○
完成度	○	◎	○	

(2015.02.11 版)